



# News Letter

日本小児歯科学会九州地方会 平成28年8月31日発行

日本小児歯科学会  
九州地方会事務局(平成28年度)

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1  
鹿児島大学小児歯科学分野  
TEL: (099)275-6262  
FAX: (099)275-6268

## 日本小児歯科学会九州地方会 会長挨拶



医療法人おく小児矯正歯科 理事長  
奥 猛志

平成28・29年度の日本小児歯科学会九州地方会の会長を拝命いたしました、鹿児島市で開業しております奥猛志と申します。はじめに、熊本地震に被災された皆様にお見舞い申し上げます。まだまだ復旧もおぼつかない状況のようですが、一日も早い復興をお祈りいたします。

会員の皆様におかれましては、日頃より会務の運営にご協力いただき御礼申し上げます。久芳会長、牧会長の元、副会長を2期努めた経験を生かし、会員の皆様方のご意見に幅広く耳を傾け、学会の発展のため邁進していく所存です。ご支援、ご協力の程、どうぞ、よろしく願いいたします。

平成28年4月17日に予定していた第1回役員会は、地震による交通網遮断のため、メール会議にて対応いたしました。その中で、平成28・29年度事業計画を下記のように決議決定いたしました。

1. 前年度までの九州地方会運営方針の継続
  - ① 地方会運営の見直し
  - ② 小児歯科学会会員の研鑽と啓発を目的とした研修会の企画
  - ③ 九州地方会ホームページの充実と会員への周知
  - ④ こども健康週間等への協力による小児科医との連携
2. 本会の公益法人化に伴う地方会のあり方の見直し
3. 会員・非会員への小児歯科臨床の普及啓発
4. 歯科衛生士会員を含む新規入会促進
5. ホームページやメールを活用した、会員連絡方法の簡素化
6. 他職種連携の推進

7. 専門医のレベル向上(専門医認定更新発表内容検討)
8. 歯科医師(特に女性)の勤務環境整備(小児歯科医バンクの活用)
9. 開業医間の情報交換(JSPPOおよびStudy groupとの連携)

中でも今期は本会の公益法人化が予定されており、各地方会間で情報交換し、連携を取りながらシステムの構築を図って参ります。

牧前会長が推進された、大学の無い地域、小児歯科専門医不足の地域の小児歯科医の活性化事業も定着してきており、今年度は、長崎県五島で開催されました。新たな事業として、地方会大会の演題発表の活性化のため第34回大会では大会優秀賞を創設します。また、歯科衛生士が地方会に積極的に参画していただくため、歯科衛生士活性化委員会を設立し、石谷徳人先生に委員長にご就任いただきました。皆様からのご意見をいただきながら、地方会の運営を行って参ります。2年間、どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、第34回日本小児歯科学会九州地方会大会は井上浩一郎大会長のもと、平成28年10月30日(日)に宮崎市民プラザで開催されます。う蝕が減少した現在、子どもたちの新たな問題となってきた口呼吸、摂食機能異常に関しては今井一彰先生、田村文誉先生、齊藤一誠先生といったご専門の先生方に、さらには、口腔の健康が全身の健康に如何に関与しているかに関して、糖尿病専門医の西田互先生にご講演いただくなど、とても有意義な企画となっております。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

## 日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶

福岡歯科大学 成育小児歯科学分野 教授  
尾崎 正雄



このたび地方会副会長を拝命しました福岡歯科大学の尾崎でございます。第1回の九州地方会大会が開催されて昨今で34年となります。その間に小児の齲蝕は減少してきましたが、臨床的にみると重症齲蝕や口腔機能異常など、小児歯科医にとっての問題は山積しています。これからの小児歯科医の目指す道は、隠れ齲蝕の掘り起こしや、より洗練された治療法と齲蝕予防システムの構築にあると思います。現在私の教室ではもっと臨床のスキルを上げ、未来のこども達のお口の健康と全身の成長を願い、研究と臨床に前向きに取り組んでいます。これらの成果は、九州地方会でも報告

しようと思っておりますが、九州全体のこども達が健康な口腔衛生状態と機能を獲得するためには、地方会会員が積極的にこども達をサポートしていくことが必要性です。奥会長のおかげで地方会にもホームページが立ち上げられ、色々な啓発活動が出来るようになってきました。奥会長は優れた臨床家でありアイデアマンですから、九州地方会にも新しい旋風が起きることと期待しています。私は、奥会長の下、山崎副会長と共に地方会の一員として九州地区の子供たちと保護者に開かれた地方会を目指して行きたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶

鹿児島大学 小児歯科学分野 教授  
山崎 要一



日本小児歯科学会 平成28年・29年度九州地方会 奥 猛志会長の下で、副会長に就任致しました鹿児島大学 山崎です。

平成24年度から27年度までの4年間、理事長として日本小児歯科学会の舵取りを行ってきた経歴を活かして、九州地方会では奥会長を補佐し、会の運営に貢献したいと思います。

さて、5月に開催されました第10回PDAAアジア小児歯科学会 東京大会ならびに第54回日本小児歯科学会大会は、東京歯科大学の新谷誠康 大会長と長崎大学の藤原卓 準備委員長の下で、関東地方会の会員を中心とした準備委員会の努力の結果、大成功で終えることができました。速報としていただいた情報では、招待講演者も含めた参加者総数は2,158名（海外参加者480名、国内参加者1,678名）、海外からの国と地域の参加数は29とのことでした。これまでの参加者記録は、前回のシンガポール大会で500名程度でしたので、今大会はこれを一気に4倍上回ったこととなります。

今回はアジア小児歯科学会の役員に加えて、国際小

児歯科学会の役員も理事会開催のために世界中から東京に集合されましたが、彼らもそろって今大会を「Great Success」と評して下さいました。

九州地方会からも多くの皆様にご出席いただき、感謝申し上げます。

今回の国際学会開催の成功により、今後の国際小児歯科学会大会の日本への誘致活動にも弾みがつくものと期待されます。

また、当初、4月17日(日)に奥会長の下で予定されておりました九州地方会の第1回役員会は、4月14日(木)と4月16日(土)の2回に亘って震度7を記録した熊本地震の影響により延期されてしまいましたが、その間の救援事業において、日本小児歯科学会ならびに九州地方会の役員の皆様には、物資や義援金のご援助を賜り、誠にありがとうございました。

本件については、鹿児島大学病院の歯科部門責任者でもあったため、震災直後から、日本小児歯科学会の災害対策本部の設置と並行して救援活動を開始し、4月28日(木)から20日間に亘り、日本医師会 JMATと

全国知事会 医療救護班、ならびに九州地区連合歯科医師会協議会の3系統からの要請に応える形で、鹿児島大学病院 災害救援チームの一員として、歯科医師と歯科衛生士が同行する6隊を熊本県の被災地である宇土市、阿蘇医療センター（ADRO：阿蘇地区災害保健医療復興連絡会議）、益城町に派遣することができました。

鹿児島大学小児歯科学分野でお預かりしておりました子ども用歯ブラシなどの支援物資は、熊本県歯科医師会 災害コーディネータの管轄部署に送付するとともに、緊急要請度の高い避難所には、鹿大病院の災害救援チームに託して、直接、被災者にお届け致しました。

皆様のご支援に重ねてお礼申し上げます。

さて、10月には福岡での日本歯科医学会総会に続き、

その翌週に、宮崎県幹事の井上浩一郎先生を大会長として、メインテーマ「宮崎からこどもの未来につなごう！」の下に宮崎小児歯科臨床懇話会と鹿児島大学小児歯科学分野が協力して、第34回九州地方会大会および総会の開催準備を進めております。

大学歯学部や歯科大学のない地域での地方会開催は、九州の5大学の責務であり、九州歯科大学をお借りして、5年前に開催した中四国地方会との合同大会に続き、鹿児島を離れた2度目の大会開催となります。

多くの皆様が宮崎の地にお越しくださいますよう、お待ち致しております。

以上、長くなりましたが、奥執行部の今後の活動において、九州地方会会員の皆様のご支援をよろしくお願い致します。

## 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会開催報告

第33回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会大会長  
福岡市立こども病院 小児歯科 柳田 憲一

第33回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会は九州大学（大会長：柳田憲一、大会長補佐：野中和明教授、準備委員長：増田啓次）が担当し、平成27年11月15日に福岡県歯科医師会館にて行った。“小児歯科における医療連携”とした大会のメインテーマのもと350名の参加者があった。

基調講演では、福岡市立こども病院名誉院長の福重淳一郎先生に、「小児医療の進歩—現状と今後の課題—」の講演をお願いした。小児医療の最前線と小児医療がこれからどこに向かおうとしているのか大いに考えさせられた。また、特別講演としてアメリカ合衆国のノース・カロライナ大学・小児歯科教授のJ.Timothy Wright先生を招聘し、アメリカにおける小児歯科の現状、日本との違いやアメリカの教育・臨床の特徴を知ることができた。

今回は昼食の時間を設定せず、特別講演に引き続いてポスター展示の討論会を行った。その後、シンポジウムと衛生士セミナーを行った。シンポジウムのテーマは、「より安心・安全な小児歯科医療を目指して」とした。まず福岡市立こども病院・産科・科長の福嶋恒太郎先生に“妊娠中の歯科治療とくすり”のタイト

ルで、次に九州大学病院こどものこころの診療部・特任教授の吉田敬子先生には“児童精神医学の領域からのポイント”、さらに同小児科・助教講師の古賀友紀先生には“小児がん治療の現状と晩期合併症”、最後に同小児外科・助教講師の永田公二先生には“小児領域において知っておきたい医療安全管理～異物の誤嚥・誤飲を中心に～”のタイトルでご講演をいただいた。

また、「障害児(者)および有病児への歯科的アプローチ」というテーマで衛生士セミナーを行った。佐賀整肢学園こども発達医療センター歯科室長の立川義博先生の“自閉症児に効果のあるリラックス法”を皮切りに、廣田歯科医院の廣田和子歯科医師には“衛生士と、地域における障害者および有病者の関わり”、さらにきららデンタルクリニック院長渡辺善久先生には“未来にむけての取り組み”、最後に九州大学病院の山下薫歯科衛生士に“当院における有病児への口腔ケアについて”のタイトルでそれぞれの取り組みについて話を聞いた。

懇親会は16時からと例年より早めに開始した。100名近くの参加者があり、ソラリア西鉄ホテルの17階で

博多湾を臨みながら学会の疲れを癒し懇親を深めることができた。

最後に、準備、運営にご尽力いただいた先生方をは

じめ、多くの関係者各位、ご参加いただいたすべての皆様のご協力、ご指導に対して、心より深く感謝申し上げます。

## 第33回日本小児歯科学会九州地方会総会議事録

日時：平成27年11月15日(日)

場所：福岡県歯科医師会館

### 1. 開会の辞

奥副会長より開会の辞が述べられた。

### 2. 会長挨拶

牧九州地方会会長より挨拶が述べられた。

### 3. 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会長挨拶

柳田大会長より挨拶が述べられた。

### 4. 一般社団法人日本小児歯科学会理事長挨拶

山崎理事長より挨拶が述べられた。

### 5. 議長選出

宮崎県の旭爪伸二先生が議長に選出された。

### 6. 議事

#### 1) 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会会計決算報告

西田幹事より第32回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の会計決算報告が行われた。

#### 2) 平成26年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算報告

佐伯幹事より平成26年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算報告が行われた。

#### 3) 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会決算及び平成26年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算監査報告

入江監事より監査報告が行われ、承認された。

#### 4) 平成28～29年度役員の承認について

牧会長より、九州地方会役員会において次期会長に奥猛志先生が推挙されたことが報告され、承認さ

れた。

奥会長より、九州地方会役員会において次期副会長に山崎要一先生、尾崎正雄先生、次期監事に久芳陽一先生、旭爪伸二先生が推挙されたことが報告され、承認された。

#### 5) 平成27年度日本小児歯科学会九州地方会予算案について

佐伯幹事により、平成27年度日本小児歯科学会九州地方会予算案について報告され、承認された。

#### 6) 第35回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会開催地について

牧会長より、第35回日本小児歯科学会九州地方会および総会の担当校として長崎大学が推挙され、承認された。

藤原幹事より、第35回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会は、平成29年11月19日(日)佐賀県歯科医師会館で行う予定であることが報告された。

### 7. その他

#### 1) 平成28～29年度日本小児歯科学会九州地方会会長奥次期会長より、挨拶が行われた。

#### 2) 第34回日本小児歯科学会九州地方会大会長挨拶 井上次期大会長より、挨拶が行われた。

#### 3) PDAAのご案内

新谷大会長より、第10回アジア小児歯科学会大会／第54回日本小児歯科学会大会のお知らせがあった。

### 8. 閉会の辞

尾崎副会長より、閉会の辞が述べられた。

## 第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会のお知らせ

第34回日本小児歯科学会 九州地方会大会および総会大会長  
いのうえ小児歯科 院長 井上浩一郎

第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会を鹿児島大学が担当し、下記の要領で開催させていただきます。多くの会員の皆様のご参加ならびにご発表をお待ちしております。なお、20年ぶりの宮崎での地方会大会開催ということで、本年度は懇親会を大会前日の10月29日19時より開催することといたしました。多くの会員の皆様のご参加をいただき、一層ご親睦を深めていただければ幸いです。

メインテーマ：宮崎からこどもの未来につなごう！  
～いま、小児歯科に求められるもの～

1. 大会期日：平成28年10月30日(日) 8：30～
2. 会場：宮崎市民プラザ  
〒880-0001 宮崎市橋通西1丁目1番2号  
TEL.0985-24-1008  
FAX.0985-29-2244

懇親会会場：宮崎観光ホテル 東館2F「ディア  
マンルージュ」 19：00～  
〒880-8512 宮崎市松山1-1-1  
TEL.0985-27-1212

託児室：大会当日の2週間前までに、後記事務局内託児室担当の窪田直子  
(kubonao@dent.kagoshima-u.ac.jp)  
までお申込みください。

委託先：NPO法人みやざき子ども文化センター  
〒880-0051 宮崎市江平西1丁目5番11号 江平ビル105号  
TEL. 0985-61-7590

### 3. 大会内容

#### 1) 特別講演Ⅰ

「息育のすすめ～口は食物と空気の通り道～」  
(みらいクリニック 院長 今井 一彰 先生)

#### 2) 特別講演Ⅱ

「摂食嚥下機能に遅れや障害のある子どもへの支援」

(日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩ク  
リニック

口腔リハビリテーション科 科長 田村 文誉

先生)

#### 3) シンポジウム

テーマ「小児の在宅医療を考える」

##### I 「在宅療養児の食の支援を考える～多職種連携の重要性～」

(医療法人天翔会 看護部長 鹿児島子ども訪問看護ステーション 管理者 渡邊 理恵 先生)

##### II 「小児の在宅医療～支える私が支えから学んだこと～」

(西国領歯科医院 副院長 西国領 俊子 先生)

##### III 「医師の立場から」

(宮崎県立子ども療育センター 小児科 医師 澤田 一美 先生)

#### 4) 歯科衛生士セミナー

「こどもたちを糖尿病から守る 歯科衛生士～チェアサイドで必要な糖代謝異常の知識～」

(にしだわたる糖尿病内科 院長 西田 互 先生)

#### 5) ランチョンセミナー

「口呼吸と口唇閉鎖～りっふるくんの臨床～」

(新潟大学大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野 准教授 齊藤 一誠 先生)

#### 6) 一般講演：展示発表

#### 7) 専門医・認定医・認定歯科衛生士資格更新のための展示発表

4. 会費：歯科医師 5,000円 歯科衛生士・その他 2,000円 懇親会費：5,000円

#### 5. 本大会に関する問い合わせ

第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会事務局

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野内

大会準備委員長補佐：佐藤秀夫

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

TEL.099-275-6262 FAX.099-275-6268

E-mail：hideo-sato@ms.kagoshima-u.ac.jp

## 第35回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会のお知らせ

日本小児歯科学会九州地方会大会を22年ぶりに佐賀の地で開催できますことに感謝申し上げますと共に、本県開催決定にご尽力頂いた佐賀県歯科医師会の寺尾隆治会長・原秀幸理事、長崎大学の藤原教授・星野准教授に厚く御礼申し上げます。

第35回日本小児歯科学会九州地方会大会は長崎大学にサポートいただき、佐賀県歯科医師会が主体となり、平成29年11月19日に開催することとなりました。佐賀県での地方会は、平成7年（1995年）の第13回地方会大会以来です。当時私は鹿児島大学の大学院生で、平成6年；大分、平成8年；宮崎、平成9年；熊本など、小椋正 前鹿児島大学教授に連れて行って頂いたことが懐かしく思い出されます。

今回の会場は佐賀市にある佐賀県歯科医師会館です。といっても、現在工事中で、平成29年4月に新会

館が完成します。日本小児歯科学会九州地方会はそのこけら落としにふさわしいものにしたと考えております。メインテーマは『笑顔とお口の健康づくり～夢をバルーンにのせて！～』としました。このテーマの由来は、佐賀県の歯科保健条例である「笑顔とお口の健康づくり推進条例」とアジア最大級を誇る熱気球の国際フェスティバル「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」に因っております。

大勢の皆様が“佐賀大会”は楽しかったと感じていただける様、また、佐賀県歯科医師会地域保健部一同、“おもてなし”の心を持って誠心誠意お出迎え致したいと考えておりますので、皆様には、第35回日本小児歯科学会九州地方会大会へのなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(文責 舛元 康浩)

## 平成27年度 日本小児歯科学会九州地方会 会計報告

単位：円

収入	
前年度繰越金	2,366,998
日本小児歯科学会より入金	765,000
利息	376
合計	3,132,374
支出	
第33回日本小児歯科学会九州地方会大会援助金	569,519
ニュースレター印刷費・郵送費	93,960
学術振興費	247,436
ホームページ管理・更新費	150,120
会議費	104,160
通信費	75,216
雑費	3,240
予備費（繰越金）	1,888,723
合計	3,132,374

上記の決算に間違いのないことを証明します。

会計監査 久芳 陽一

会計監査 入江 英仁

## 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会収支報告

### 【収入】

日本小児歯科学会より補助金	569,519
大会参加費 歯科医師 5,000円×247名	1,235,000
コデンタル 2,000円× 97名	194,000
専門医更新審査料 3,000円× 13名	39,000
抄録集販売 500円× 17冊	8,500
協賛金・商業展示・広告	445,000
懇親会費 4,000円× 85名	340,000
信用組合利息	68
計	2,831,087

### 【支出】

印刷費	759,742
会館使用料	182,807
会場設営費	648,000
講演料	420,000
海外講師交通費および宿泊費その他	406,326
大会運営費	55,000
懇親会費	320,000
雑費	34,995
振込手数料	4,212
税金	5
計	2,831,087

単位：円

上記相違ありません。

平成28年7月22日

監査 久芳 陽一

監査 入江 英仁

## 第55回日本小児歯科学会大会

テーマ「未来を担う子どもたちのより良い口腔育成を目指して」

日時：平成29年5月25日(木)、26日(金)  
場所：北九州市小倉北区西日本総合展示場新館、  
AIM  
大会長：牧 憲司  
準備委員長：西田 郁子  
大会長補佐：佐伯 桂、森川 和政、藤田 優子

市民公開講座  
JSPF企画講演  
一般口演、ポスター発表  
企業展示  
大会前日：5月24日(水) 常務理事会、社員総会など  
懇親会：リーガロイヤルホテル 5月25日(木)大会初  
日日程終了後

### 特別講演

- I 今井一彰先生 (みらいクリニック院長)
- II 自見英治郎先生 (九州歯科大学 教授)

シンポジウム I 石谷徳人先生他

「かかりつけ歯科医が行う小児期からの咬合治療を  
考える (仮題)

シンポジウム II 福本敏先生他

「口腔リソースからの再生医療の展開一歯の再生か  
ら全身疾患の治療まで」

教育講演：依頼中

女性歯科医委員会企画講演

歯科衛生士委員会企画セミナー

認定歯科衛生士認定更新必須研修セミナー

### 連絡先：大会事務局

第55回日本小児歯科学会大会および総会  
〒803-8580

北九州市小倉北区真鶴2丁目6-1

九州歯科大学口腔機能発達学分野内

準備委員長：西田郁子

TEL：093-582-1131 (内線1904, 1906)

FAX：093-583-5383

e-mail：nishida@kyu-dent.ac.jp

### 連絡先：運営事務局

株式会社 日本旅行九州法人支店 Globat MICE センター

〒812-0011 福岡市博多駅博多駅前3-2-1-5F

Tel：092-451-0606 Fax：092-451-0550

## 医局紹介

### ～ 鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野 ～

鹿児島大学 小児歯科には日本小児歯科学会九州地方会の山崎要一副会長、佐藤秀夫庶務幹事、橋口真紀子会計幹事が所属しており、九州地方会役員会の事務局を担っております。

現在、常勤の医局員は16名所属しており、数年来では最多となりました。今年度は大学院生が4名入学し、山崎教授就任以降では一番多くの入学者数です。少子化時代において、小児歯科の後継者不足は深刻な問題

となりつつあります。小児歯科を志す若い同志の存在は、我々にとっても心強いものであり、日本の子どもの未来にとっても明るい光です。

話題が脱線してしまいましたが、10月30日に宮崎市民プラザで開催されます第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会におきましては井上浩一郎大会長の下、鹿児島大学も運営として貢献して参ります。

(文責 佐藤 秀夫)



## 平成27年度第1回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

開催日時：平成27年4月29日(水) 12:00~13:40

開催場所：九州歯科大学病院棟3階セミナー室

出席者：牧 憲司、奥 猛志、尾崎正雄、野中正明、藤原 卓、山崎要一、増田啓次、馬場篤子、星野倫範、佐藤秀夫、田中克明、行成哲弘、木船敏郎、井上浩一郎、重田浩樹、空田安博、橋本敏昭、久芳陽一、入江英仁、佐伯桂、大倉秀一郎、品川光春、石谷徳人、柳田憲一、西田郁子

欠席者：石井 香、柏木伸一郎、京極絵美、竹島勇（敬称略）

#### 1. 開会の辞

奥副会長より開会の辞が述べられた。

#### 2. 会長挨拶

牧会長より会長挨拶が述べられた。

#### 3. 報告事項

1) 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について、柳田大会長より資料1を参考に準備状況が報告された。

特別講演「Education, Clinical Activity, History as well as Future Strategy for the Patient in Special Need Dentistry at North Carolina」は、ノースカロライナ大学 小児歯科 Tim Wright 教授で、講演が英語であるため。日本語対訳の抄録などを作製する予定であることが報告された。

懇親会は4時開催予定で、そのためお昼休みにポスター討論会を行う予定である。

前日役員会は、福岡こども病院で行う計画を立てている。詳細については、後日お知らせ予定である。

2) 第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について

井上大会長が資料2を参考に準備状況が報告された。開催日程に関しては、日本歯科医学会総会開催のため、再検討することとなった。

3) 日本小児歯科学会九州地方会会員名簿シール使用許可願い

奥副会長より資料3を参考に第20回成育歯科医療研究会大会のお知らせがあり、九州地方会会員名簿シールの使用許可願いがあった。

4) 藤原幹事より平成27年6月18、19、20日に長崎市で小児保健学術集会の開催のお知らせがあった。近

日、詳細はホームページに掲載予定である。

#### 4. 議長選出

牧会長より重田先生が議長に選出された。

#### 5. 審議事項

1) 平成26年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告  
佐伯幹事が資料4を参考に平成26年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告を行った。

2) 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会会計報告

西田幹事が資料5を参考に第32回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会計報告を行った。

3) 1) および2) に対する会計監査報告

入江監事より、1) および2) について適正に執行されていることの報告があり、平成26年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告、第32回日本小児歯科学会九州地方会会計報告について承認された。

4) 平成27年度九州地方会事業計画書

牧会長が資料6を参考に、平成27年度九州地方会事業計画が報告され、承認された。以下の3項目について、追加報告がされた。

##### (1) 会員関係について

奥副会長より、小児歯科学会会員向けのポスターの作製、配布、ホームページ掲載についての報告があった。入会時での配布に関しては、学会事務局へ対応を依頼した。

小児保健委員会より「スポーツと歯科」というリーフレットを6月頃配布予定であることが報告された。

山崎幹事より、親学会も九州地方会と同様の方針であり、連携して進めていきたいと述べられた。

##### (2) 機構整備について

山崎幹事より親学会としては公益化の準備が行われているとの報告があった。それに伴い、地方会のあり方も変わることが述べられた。

##### (3) 学術関係について

各県講師派遣について、鹿児島県の重田幹事より、小児歯科臨床のレベルを向上ために検討中で、年末か年度末に開催予定であることが報告された。大分県の木船幹事より検討中であることが報告された。

5) 平成27年度九州地方会予算案

佐伯幹事が資料7を参考に27年度九州地方会予算案を報告し、承認された。

予備費の減少について質問があったが、数年前より予備費を公益事業に使用する方針であることが説明された。

#### 6) 第35回日本小児歯科学会九州地方会及び総会の開催について

牧会長より、第35回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の担当校として長崎大学を提案され、承認された。

#### 7) ニュースレターの発刊について

大倉幹事より資料9を参考にニュースレターの内容、発刊日程等について報告され、承認された。

#### 8) その他

(1) 尾崎幹事が専門医委員会からのお知らせとして、本年度のセミナー開催はないが、来年度専門医・認定医合同セミナーを九州で行う予定であることが報告された。開催時期、メインテーマと講師(2名)について、ご意見があれば、8月までに尾崎幹事に連絡するように依頼があった。

(2) 木船幹事より永久歯の形成不全に関する調査依頼の件で質問があったが、現在倫理審査方法について検討中であることの説明があった。

(3) 藤原幹事より学会発表の際に、利益相反について言及する必要があることが報告された。

(4) 木船幹事より医科専門医制度の変更に伴い、歯科の専門医制度の変更の可能性についての質問があったが、日本歯科医学会で検討項目に挙がっていることの報告があった。

(5) 藤原幹事より、7月2日から英国グラスゴーで開催される国際小児歯科学会のお知らせがあった。

#### 6. 総評

入江監事より、1)平成27年度の事業計画、予算が決定したので有意義に執行して頂きたい。2)本会の公益化に伴う地方会のシステムの変更は、会員に説明をして頂きたい。3)各県代表幹事は、役員会での決定事項は、各県会員に周知してほしい。と述べられた。

久芳監事より、地方会でのブースの充実を行うことによって会員増加につながるのではないかと述べられた。また、ホームページを利用して、役員会での決定事項は、各県会員に広報できるのではないかと述べられた。

#### 7. 閉会の辞

尾崎副会長より、閉会の辞が述べられた。

次回役員会日時は、8月9日(日)となった。

## 平成27年度第2回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

日時：平成27年8月9日(日) 12:00~14:00

場所：九州歯科大学病院棟第3、4会議室

出席者：牧 憲司、奥 猛志、尾崎正雄、野中和明、藤原 卓、山崎要一、増田啓次、馬場篤子、星野倫範、佐藤秀夫、石井 香、柏木伸一郎、田中克明、行成哲弘、京極絵美、木船敏郎、井上浩一郎、重田浩樹、橋本敏昭、入江英仁、佐伯 桂、大倉秀一郎、品川光春、石谷徳人、柳田憲一、西田郁子

欠席者：竹島 勇、空田安博、品川光春、久芳陽一(敬称略)

#### 1. 開会の辞

奥副会長より開会の辞が述べられた。

#### 2. 会長挨拶

牧会長より会長挨拶が述べられた。

#### 3. 報告事項

#### 1) 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会準備状況について

資料1を参考に、柳田先生より準備状況が報告された。

メインテーマ：小児歯科における医療連携

日時：平成27年11月15日(日)

場所：福岡県歯科医師会館

大会長：柳田 憲一(福岡市立こども病院)

大会長補佐：野中 和明

準備委員長：増田 啓次

事務局：九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野

1. 基調講演：「小児医療の進歩—現状と今後の課題—」(福岡市立こども病院 名誉院長 福重淳一郎 先生)

2. 特別講演：「Education, Clinical Activity,

History as well as Future Strategy for the Patient in Special Need Dentistry at North Carolina) (ノースカロライナ大学 小児歯科 Tim Wright 教授)

3. シンポジウム：より安心・安全な小児歯科医療を目指して

1) 「妊娠中の歯科治療とくすり」

月森 清巳 先生 (福岡市立こども病院 周産期センター長)

2) 「児童精神医学の領域からのポイント」

吉田 敬子 先生 (九州大学病院 こどものこころの診療部 特任教授)

3) 「小児がん治療の現状と晩期合併症」

古賀 友紀 先生 (九州大学病院 小児科 助教講師)

4) 「小児領域において知っておきたい医療安全管理—異物の誤嚥・誤飲を中心に—」

永田 公二 先生 (九州大学病院 小児外科 助教)

4. 衛生士セミナー：障害児(者)および有病児への歯科的アプローチ

1) 「自閉症児に効果のあるリラックス法」

立川 義博 先生 (佐賀整肢学園こども発達医療センター歯科室長)

2) 「衛生士と、地域における障害者および有病者の関わり」

廣田 和子 先生 (廣田歯科 歯科医師)

3) 「未来にむけての取り組み」

渡辺 善久 先生 (きららデンタルクリニック 院長)

4) 「当院における有病児への口腔ケアについて」

山下 薫 先生 (九州大学病院 小児歯科・スペシャルニーズ歯科 歯科衛生士)

5. ポスター発表

1) 一般演題発表：17題

2) 専門医・認定医専門医更新用プレゼンテーション：13題

3) 認定歯科衛生士認定審査：3題

4) その他：歯科衛生士委員会 1題  
社会保険委員会 1題

6. 懇親会：ソラリア西鉄ホテル17階

前日役員会は、19時より福岡子ども病院会議室にて行う予定である。駐車場も確保している。役員会開催場所の変更要望がある場合は、1か月前

までに柳田準備委員長に連絡することをお願いされた。

2) 第34回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会準備状況について

資料2を参考に井上先生より第34回日本小児歯科学会九州地方会の準備状況が説明された。

日程は平成28年10月30日(日)に決定し、内容については検討中である。

担当校である鹿児島大学山崎教授より協力依頼があった。

3) その他

①第20回成育歯科医療研究会について

資料3を参考に、奥先生より平成27年9月2、3日に開催される第20回成育歯科医療研究会についてお知らせがあった。

②スタディグループ調査票

資料4を参考に、西田先生よりスタディグループ調査票の結果について報告があった。希望があったスタディグループはホームページに掲載し、ニュースレターは、誌面の関係で順次掲載していく予定であることが説明された。

代表者の小児歯科学会入会状況について確認することとなった。

アンケートの回答が得られていないスタディグループに関しては、再度連絡することとした。

4. 議長選出

牧会長より石谷徳人先生が議長に選出された。

5. 審議事項

1) 平成28年度九州地方会会長および監事の選出について

牧会長より九州地方会会則に従い、次期会長に奥猛志先生を推薦され、承認された。

監事は引き続き入江先生と久芳先生が推薦された。入江先生より、既に2期担当しているので、新しい方に担当して頂きたいと述べられた。監事に関しては、次期役員会へ持ち越しとなった。

また、牧会長より、地方会会長の選任に関して、大学教授の任期を考慮してはと提案があり、次期役員会で検討することとなった。

内定された奥次期会長より挨拶があった。

2) 大分県、鹿児島県における小児歯科研修会開催企画について

牧会長より小児歯科研修会開催企画について説明があった。

大分県では、障害者（児）に関する講演依頼があり、鹿児島大学・佐藤秀夫先生、九州歯科大学・森川和政先生の講師派遣が決定した。日程については検討中であることが報告された。

重田先生より、地域歯科委員会とタイアップし、食育に関しての講演要望があり、「小児歯科から食育を考える」というメインテーマで行う予定である。日程は、平成28年2月20日（土）16：00～18：00、講師は山崎要一先生、佐藤秀夫先生である報告があった。

以上、研修会について、承認された。

来年度は、長崎県が内定しており、藤原先生より五島で開催できるよう調整中であることが報告された。

### 3) 第35回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会について

牧会長より第35回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の担当校として長崎大学が推薦され、承認された。

長崎大学の藤原教授より、佐賀県で開催予定であることが報告された。

### 4) 九州地方会事業及び予算に関する検討委員会について

資料7を参考に、牧会長より説明された。

#### ③MIH調査

野中先生よりMIH調査についての詳細についての質問があった。

木船先生より、各調査委員が選出され、連絡を待っている状態であることの報告があった。また、調査は無作為で行われるのか質問があった。

臨床研究推進委員会所属の星野先生より、今回の調査は、人口あたりで調査人数を決定しており、無作為であること、倫理申請に関しては、大学の倫理委員会に申請すること、調査参加開業医の名簿を作成して、倫理申請を行うこととなるため、調査開始はもう暫く時間がかかることの説明があった。

野中先生より、大学で得られたデータはバイアス

がかかっている可能性があるので、臨床研究推進委員会で検討して頂きたいとの要望があった。

#### ②優秀発表賞

意義、選考方法、選考委員の選出等について意見が出された。

牧会長より、たたき台を作製し、今後検討して頂くことの提案があった。

以上の項目に関して承認された。

#### 5) その他

牧会長より、子ども健康週間に関して、市民公開講座など報告してほしいと述べられた。次回地方会大会においても会員増加のため、入会用ブースを設けてほしい、各県開催での研修会においても入会促進に努めてほしいと述べられた。

本部よりの報告として、山崎先生より、厚労省のヒアリングについて報告があった。

口唇力測定とコーティングについて、提出している。口唇機能の計測評価に関して、9～10月に松風から機器が発売予定である。

グラスゴーの国際小児歯科学会について報告があった。2年後はチリのサンチアゴで開催されることが報告された。

藤原先生より、平成28年5月26、27日に開催されるAAPDについて説明があった。

参加費は歯科医師3万円、衛生士6～7千円予定である。演題登録は11月ころ始める予定である。衛生士セッションは、昭和大学の弘中先生、食育のセッションは木本先生に依頼している。

木船先生より、パノラマ撮影は診査に重要な項目のため算定できるようにしてほしいとの要望があり、藤原先生、山崎先生より実現できるよう働きかけていきたいと述べられた。

#### 6. 総評

入江先生より、優秀賞について若手は奨励賞、長年やっている方には2通りで行ってはいかがでしょうか。順調に会務が進んでいるが、次期公益法化への事務処理が齟齬なく進むようにしてほしいと述べられた。

#### 7. 閉会の辞

尾崎副会長より閉会の辞が述べられた。

## 平成27年度第3回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

日 時：平成27年11月14日(土) 19時～21時

場 所：福岡市立こども病院てりはホール

出席者：牧 憲司、奥 猛志、尾崎正雄、藤原 卓、  
山崎要一、増田啓次、星野倫範、佐藤秀夫、  
石井 香、柏木伸一郎、田中克明、行成哲弘、  
京極絵美、木船敏郎、空田安博、井上浩一郎、  
重田浩樹、橋本敏昭、入江英仁、久芳陽一、  
大倉秀一郎、品川光春、石谷徳人、柳田憲一、  
佐伯 桂、西田郁子

欠席者：野中和明、馬場篤子、竹島 勇（敬称略）

### 1. 開会の辞

奥副会長より開会の辞を述べられた。

### 2. 会長挨拶

牧会長より会長挨拶が述べられた。

### 3. 報告事項

#### 1) 第33回日本小児歯科学会九州地方会総会および大会準備状況について

資料1を参考に柳田大会長より大会概要が報告された。一般発表演題が18題に、シンポジストの月森清巳先生が、体調不良のため、福岡 恒太郎先生（福岡市立こども病院 産科 科長）に、変更になったことが報告された。

#### 2) 第34回日本小児歯科学会九州地方会総会および大会準備状況について

資料2を参考に、井上大会長より準備状況が報告された。

メインテーマ「宮崎からこどもの未来につなごう！」

～いま、小児歯科に求められるもの～

日 時：平成28年10月30日(日)

会 場：宮崎市民プラザ 宮崎市橘通西一丁目1-2

大会長：井上 浩一郎

準備委員長：山崎 要一

補 佐：佐藤 秀夫

事務局：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野

講演者について

○田村 文誉 教授（日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック口腔リハビリテーション科 科長）

○今井 一彰（みらいクリニック 院長）

※役員会ならびに懇親会について

大会前日10月29日(土)に、開催を計画しております。山崎幹事より、日程が近畿地方会と重複しているが、日本歯科医学会開催日程との関係上、再度の日程変更は困難であることが説明された。

### 3) その他

藤原準備委員長より、第10回アジア小児歯科学会大会／第54回日本小児歯科学会大会のお知らせがあった。開催日時は、2016年5月26日(木)～28日(土)、会場は東京ドームホテル、事前登録参加費は歯科医師学会員3万円、スタッフ7千円に決定したこと、学会参加ポイントは、2倍の20単位であることが報告された。

### 4. 議長選出

牧会長より行成哲弘先生が推薦された。

### 5. 審議事項

#### 1) 第33回日本小児歯科学会九州地方会総会式次第について

資料3を参考に、牧会長より第33回日本小児歯科学会九州地方会総会の式次第が説明され、承認された。

今後、予算案については、総会で次年度の承認を得られるようにした方がよいとの提案があった。

#### 2) 第35回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会について

藤原幹事より、第35回日本小児歯科学会九州地方会および総会は、平成29年11月19日(日)に、佐賀県歯科医師会館にて開催予定で、大会長およびテーマは、調整中であることが説明され、承認された。

#### 3) 平成28～29年度役員について

奥次期会長より、次期副会長に、尾崎正雄先生、山崎要一先生、監事に久芳陽一先生、旭爪伸二先生が推薦され、承認された。また、県代表幹事は現在選定中であり、特別幹事については、平成28年3月以降に決定予定であることが報告され、承認された。

#### 4) 大分県、鹿児島県における小児歯科研修会開催について

鹿児島県代表幹事重田先生より、食育セミナー『小児歯科から食育を考える』について説明され、日本小児歯科学会専門医認定委員会公認講習会として申請することが承認された。

日時：平成28年2月20日(土) 16:00~18:00  
会場：鹿児島県歯科医師会館 5階大ホール  
講演1『日本歯科医師会重点研究「子どもの食の問題に関する調査」について』  
山崎要一教授（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野）  
講演2『鹿児島での食育の取り組み』  
佐藤秀夫講師（鹿児島大学医学部・歯学部附属病院発達系歯科センター小児歯科）  
主催：日本小児歯科学会九州地方会  
共催：小児歯科臨床を語る会  
後援：鹿児島県歯科医師会  
参加者：鹿児島県歯科医師会会員、日本小児歯科学会会員および各会員診療所スタッフ  
鹿児島県内幼稚園、保育園で働くスタッフ

大分県代表幹事木船先生より、「スペシャルニーズのあるこどもの歯科」について説明され、日本小児歯科学会専門医認定委員会公認講習会として申請することが承認された。

日時：平成28年3月13日(日) 10:00~12:30  
場所：大分県歯科医師会館  
講演：「取り扱いの難しいこどもの歯科治療について」  
森川和政先生（九州歯科大学口腔機能発達学分野）  
講演：「摂食嚥下に問題のあるこどもの訓練の仕方」  
佐藤秀夫先生（鹿児島大学医学部・歯学部附属病院発達系歯科センター小児歯科）  
主催：日本小児歯科学会九州地方会  
後援：大分県歯科医師会

藤原幹事より、長崎県小児歯科研修会を平成28年5月に長崎県五島で開催予定であることが説明され、日本小児歯科学会専門医認定委員会公認講習会として申請することが承認された。

以上、3つの研修会に関する費用に関しては、監査を行って頂き、その後開催の講習会に関しては、予算案を提出し、役員会で承認を得てから執行することとなった。

また、山崎幹事、尾崎幹事より、公益法人化に伴い、

謝礼、旅費等に関しても規定があり、今後は、規約に沿った運営が必要になるとの説明があった。

#### 5) 大会優秀発表賞について

資料5を参考に、牧会長より大会優秀発表賞について、説明があった。

大会優秀発表賞のあり方について、次期執行部へ協議延長となった。奥幹事より次期執行部で表彰選考委員会を立ち上げ、第1回役員会で提案、第2回役員会で承認というタイムテーブルで行いたいと説明され、承認された。また、公益法人化に伴い、次年度事業計画案として本部に提案しておく必要があるとの説明があった。

#### 6) その他

本部の各委員会よりお知らせがあった。

(1)品川幹事より、社会保険委員会からの報告があった。現在、歯科保険点数改定に向けて、提案書を提出して中医協で検討されている。また、歯学系学会社会保険委員会連合が、現在の保険点数の矛盾点を明確にするため、実際にかかった費用を積算した「歯保連試算」の冊子化を始めて作成して、今回の改定の資料として役立てる予定である。

(2)尾崎幹事より、専門医・認定合同セミナーを来年度は九州地方会で、7月か9月に開催する報告があった。セミナー内容は、咬合誘導関係（機能的矯正）で、講師に柳沢宗光先生、嘉ノ海隆三先生を予定していると報告された。

(3)山崎理事長より、①ガイドラインの作成の経緯、②日本小児歯科学会の公益法人化について、説明があった。公益法人化については、平成27年12月6日に、理事会、社員総会があることが報告された。

#### 6. 監事総評

入江監事：大会および総会が成功裡に終わりますように、また、予算執行は、新年度にスタートできるようにするのが良いのでは、と述べられた。

久芳監事：次期執行部にも是非頑張って頂きたいと述べられた。

#### 7. 閉会の辞

尾崎副会長より、閉会の辞が述べられた。

## 平成28年度日本小児歯科学会九州地方会事業計画

1. 歯科衛生士会員への支援  
歯科衛生士会員の新規入会促進および認定歯科衛生士の新規取得・更新の支援体制を構築する。
2. 小児歯科臨床の普及啓発  
九州地方会会員の臨床技術の向上ならびに非会員に対して小児歯科学会への入会促進による小児歯科臨床の普及啓発を図る。
3. 日本小児歯科学会の公益法人化に伴う、九州地方会の見直し
4. 小児科医を含む多職種との連携推進
5. ホームページの活用による九州地方会の情報発信および会員連絡体制の構築
6. 小児歯科開業医会および地域スタディーグループとの連携促進
7. 女性小児歯科医の勤務環境整備

日本小児歯科学会の公益法人化に伴い、九州地方会の定款および会計の見直しを行うことで、本会との一体化した円滑な地方会運営を目指す。

## 九州地区 5大学講座一覧

大学分野名	主任教授名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX番号
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科健康科学専攻発生発達成育学講座小児歯科学分野	山崎 要一	890-8544	鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-6262	099-275-6268
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻展開医療科学講座小児歯科学分野	藤原 卓	852-8588	長崎市坂本1-7-1	095-819-7674	095-819-7676
福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野	尾崎 正雄	814-0193	福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411 (代表)	092-801-0692 (医局直通)
九州歯科大学健康増進学講座口腔機能発達学分野	牧 憲司	803-8580	北九州市小倉北区真鶴2-6-1	093-582-1131	093-583-5383
九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野	野中 和明	812-8582	福岡市東区馬出3-1-1	092-642-6402	092-642-6468

## 九州地区の小児歯科学研究会

研究会名	代表者	事務局	事務連絡先		連絡者 メールアドレス	電話番号	FAX番号	地域単位 の研修会
沖縄小児歯科 研究会	竹島 勇	加藤真由美	903-0806	那覇市首里汀良町 3-63-3 ハイビスカ スマンション2F くばがわ歯科医院	milkyway.6480@ utopia.ocn.ne.jp	098-887-6480	098-887-6481	×
小児歯科臨床を 語る会	奥 猛志	重田 浩樹	895-0012	薩摩川内市平佐町 3605-11	shigetakodomo@ athena.ocn.ne.jp	0996-24-2564	0996-24-2565	×
宮崎障害者歯科 懇談会	安部 喜郎		880-0834	宮崎市新別府町久 保田683-1 宮崎歯 科福祉センター	d-senter@mnet. ne.jp	0985-83-3344	0985-83-3345	×
宮崎小児歯科 臨床懇話会	旭爪 伸二		880-0872	宮崎県宮崎市永楽 町207番地-1 わか ば小児歯科	wakaba@ miyazaki-catv. ne.jp	0985-27-2003	0985-25-1047	×
熊本小児歯科 懇話会	逢坂 亘彦	入江 英仁	861-3206	上益城郡御船町辺 田見366-1 入江歯 科医院	e.irie@mail.sysken. or.jp	096-282-3188	096-282-3177	×
長崎小児歯科 臨床医会	高風亜由美	堀内 礼子	854-0001	諫早市福田町37-3 堀内歯科	aya_dent@yahoo. co.jp	0957-21-5333	0957-21-5332	○
佐賀小児歯科 研究会	梅津 哲夫		849-0935	佐賀県佐賀市八戸 溝3-8-2 うめづ歯 科・小児歯科医院	umedusika@mbn. nifty.com	0959-30-2555	0959-30-5566	×
北九州小児歯科 臨床研究会	空田 安博		807-0874	福岡県北九州市八 幡西区大浦1丁目 5-15 そらだ小児歯 科医院	info@sorada.or.jp	093-602-8369	093-602-8381	×
月曜会	中尾 哲之 (世話人代行)		813-0013	福岡市東区香椎駅 前1-9-8 第2エクセ レント桜井2F なか お小児歯科	nakatetsu2003@ jcom.home.ne.jp	092-661-2370	092-661-2380	×
NPO法人ウェル ビーイング	中村 譲治		810-0041	福岡市中央区大名 1丁目15-24 Well- Being BLDG 2F	jimukyoku@well- being.or.jp	092-771-5712	092-741-8037	×
福岡小児歯科 集談会	二木 昌人		810-0022	福岡市中央区薬院 4-1-26 薬院大通セ ンタービル2F ふた つき子ども歯科	fc-dental@san. bbiq.jp	092-523-7560	092-523-7540	○
小児口腔 医療研究会	橋本 敏昭	福岡歯科大学 成育小児歯科 科学分野	814-0193	福岡市早良区田村 2-15-1 成育小児歯科学分 野内	pedoral@college. fdcnet.ac.jp	092-801-0411	092-801-0692	○

## 平成28年度専門医セミナーのご案内

専門医セミナー

日 時：平成28年10月9日(日)

北日本地方会大会終了後(詳細未定)

会 場：日本歯科大学新潟生命歯学部

テーマ：育児支援と小児の栄養について

講 師

1. 黒木 淳子(日本歯科大学新潟生命歯学部小児歯  
科学講座)

「フィンランド流育児支援とは一ゆとりある子育てを考える」

2. 中野 智子(日本歯科大学新潟生命歯学部食育健康科学講座客員教授・浜理薬品工業株式会社顧問)

「3歳までの食事で決まる成人からの健康—離乳食と栄養成分について—」

日 時：平成29年2月19日(日) 12:45~16:00

会 場：岡山大学 MUSCUT CUBE

テーマ：外傷の予防と治療

講 師

1. 佐々木秀和（花博ささき歯科・大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室臨床教授）

「外傷歯にどう対応するか？ 小児歯科医だからできること」（仮題）

2. 花岡 一誠（花岡歯科医院・日本スポーツデンティストクラブ理事）

「小児歯科臨床に必要なスポーツ歯科の知識」（仮題）

専門医・認定医合同セミナー

日 時：平成28年9月11日（日） 12：45～16：00

会 場：福岡歯科大学9階講堂

テーマ：乳歯の不正咬合の考え方

講 師

1. 嘉ノ海龍三（カノミ矯正・小児歯科クリニック）

「乳歯列期反対咬合の診断」

2. 柳澤 宗光（調布矯正歯科クリニック）

「乳歯列期反対咬合への対応・筋機能訓練装置による治療」

参加申し込み方法

学会誌に掲載の申し込み用紙をコピーするか学会のホームページ

<http://www.jspd.or.jp/contents/main/meeting/seminar02.html>から申込書をダウンロードして記入の上、FAXにて小児歯科学会事務局までお申し込みください。

## 平成27年度九州地方会小児歯科研修会 開催報告

日本小児歯科学会九州地方会は地域での小児歯科臨床の啓発と活性化を目的として、各地で研修会を開催しております。平成27年度は鹿児島県と大分県で開催しました。鹿児島は小児歯科臨床を語る会と共催で平成28年2月20日に鹿児島県歯科医師会館で開催しました。テーマは「小児歯科から食育を考える」と題して、鹿児島大学小児歯科の山崎要一教授および佐藤秀夫講師がそれぞれ講演を行いました。

大分は平成28年3月13日に大分県歯科医師会館で開催しました。

テーマは「スペシャルニーズのある子供の歯科」と題して、九州歯科大学の森川和政病院講師および鹿児島大学小児歯科の佐藤秀夫講師がそれぞれ講演を行いました。各研修会とも参加者多数で盛況かつ活発な交流でした。

（文責 長谷川大子）



## 日本小児歯科学会九州地方会会則

(平成23年10月10日一部改正)

第1条 本会は日本小児歯科学会九州地方会と称する。

第2条 本会は小児歯科を通じ地域の小児保健の向上に貢献するとともに必要とされる調査研究を行い発表と知識の普及を計ることを目的とする。

第3条 本会の事務局は別に定める所におく。

第4条 本会の会員は九州地区ならびに沖縄県に居住する日本小児歯科学会会員で構成する。

第5条 1. 本会に次の役員を置き、役員会を構成する。

会長 1名

副会長 2名

常任幹事 5名

幹事 若干名

・庶務幹事、会計幹事、広報幹事は本部役員幹事とする。

・次期大会長、地方会推薦理事、本会理事長推薦理事は特別幹事とする。

・大学代表幹事と県代表幹事は一般幹事とする。

・監事 2名（議決権は有さないものとする）

2. 役員任期は、2か年とする。ただし再任は妨げない。

なお、役員は九州地区ならびに沖縄県に居住するものに限る。

第6条 1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長が職務を執行できない場合、職務を代行する。

3. 幹事は本会運営に参画し、本会の円滑な運営を計る。

4. 監事は会計および会務を監査する。

第7条 1. 次期会長および監事は、役員会が候補者を推薦し総会で決定する。

2. 県代表幹事は九州地区ならびに沖縄県から選出された代表者とし、その数は各県の会員数に照らし合わせて別に定める。

3. 大学代表幹事は5大学小児歯科講座の推薦によって決定する。

4. 常任幹事は九州地区5大学歯学部小児歯科主任教授とする。

5. 次期役員は総会で決定する。

第8条 本会は毎年1回総会を開き会務の報告、会則の改正、役員選出、会計報告ならびにその他の議事を決定する。

第9条 本会は毎年1回会員による発表ならびに教育的事業を行う。

第10条 本大会は当日会費を徴収できる。なお会費は開催主体が役員に提出し、裁決にて決定する。

第11条 本会には顧問をおくことができる。

第12条 本会の事務年度は4月1日より翌年3月31日迄とする。

第13条 会務の円滑な運営のため、内規を役員会で決めることができる。

第14条 第8条の規定にかかわらず付則2、内規の変更に関し、役員会において行うことができる。

(付則)

1. 本会則は昭和58年4月から施行する。

本会則は平成20年11月23日から改正施行する。

本会則は平成23年10月10日から改正施行する。

2. 本会の事務局は、平成28年4月1日より下記に置く。

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科

小児歯科学分野

日本小児歯科学会九州地方会事務局

T E L : 099-275-6262

F A X : 099-275-6268

(内規)

1. 役員会は現在の年2回から必要に応じて年3回開催する。
2. 九州地区各大学においては、現在地方会会長をまだされていない教授の方々が多くなってきていることより、当分の間は大学の教授と開業医が交互に九州地方会会長として選出されることが望ましい。
3. 副会長は大学、開業医からそれぞれ1名選出する。監事は2名選出する。
4. 日本小児歯科学会への地方会推薦理事は会長が推薦し、役員会で承認する。
5. 一般幹事は、大学代表幹事（5名）と県代表幹事、福岡（2名）、長崎（1名）、熊本（1名）、大分（1名）、佐賀（1名）、宮崎（1名）、鹿児島（1名）、沖縄（1名）の計14名とする。
6. 幹事選出にあたっては、大学代表幹事は各大学の推薦による。また、各県代表幹事は各県下所属の会員による推薦によって選出する。ただし、推薦の結果や各県の事情によって決定に至らなかった場合は九州地方会会長に一任とする。将来においては、各地域において推薦された人を対象として選挙を実施し決定する方向が望ましい。

7. 幹事としてその任に対して十分にその責任を遂行できないと判断された場合は、九州地方会会長は注意勧告することが出来る。さらに改まらない時は役員会の合意を得て、推薦団体に対して責任を果たせる人選を依頼することができる。
8. 九州地方会本会からの大会援助金は一律50万円とし、大会長の要請があれば支出することができる。
9. 大会前日の役員会会議費は九州地方会会計から支出することとする。
10. 歯科医師の当日会費は一律5,000円とする。
11. 学会活動の活性化のため、大会開催以外の予算措置を含めた事業計画を立案し、役員会の承認により実施する。

## 平成28～29年度役員会名簿

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長, 地方会特別幹事	奥 猛志	鹿 児 島	県代表幹事	舩元 康浩	佐 賀
副会長	尾崎 正雄	福岡歯科大学	県代表幹事	高風亜由美	長 崎
副会長	山崎 要一	鹿 児 島 大 学	県代表幹事	京極 絵美	熊 本
常任幹事	牧 憲司	九州歯科大学	県代表幹事	木船 敏郎	大 分
常任幹事	野中 和明	九 州 大 学	県代表幹事	井上浩一郎	宮 崎
常任幹事	藤原 卓	長 崎 大 学	県代表幹事	重田 浩樹	鹿 児 島
大学代表幹事	西田 郁子	九州歯科大学	県代表幹事	竹島 勇	沖 縄
大学代表幹事	山座 治義	九 州 大 学	地方会推薦理事	田中 克明	佐 賀
大学代表幹事	岡 暁子	福岡歯科大学	地方会推薦理事	石谷 徳人	鹿 児 島
大学代表幹事	星野 倫範	長 崎 大 学	会計幹事(事務局)	橋口真紀子	鹿 児 島 大 学
大学代表幹事(事務局 庶務幹事)	佐藤 秀夫	鹿 児 島 大 学	広報幹事	長谷川大子	鹿 児 島
県代表幹事	空田 安博	福 岡	監事	久芳 陽一	福 岡
県代表幹事	橋本 敏昭	福 岡	監事	旭爪 伸二	宮 崎

## 義援金のお願い

このたびの熊本・大分地震から4か月が過ぎましたが被災された方々の一日も早い復興を心から願い少しでも我々にできる事を続けてまいりたいと強く感じている今日この頃です。

そこで、平成28年10月30日に宮崎市で開催されます第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会において、復興支援の義援金を募りたいと思っております。学会会場の受付近くに募金箱を設置します。

皆様の温かいご支援をよろしく申し上げます。

日本小児歯科学会九州地方会 会長 奥 猛志

## 編集後記

このたびの熊本・大分地震により被災された先生方には謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

夏休みに入り、子ども達と一緒にラジオ体操をして清々しい気持ちで一日をスタートしております。皆さまも体調管理の一環としていかがでしょうか。例年より少し長めの梅雨が明けたと思ったら連日の猛暑。体調など崩されませんよう、くれぐれもご自愛下さい。

最後になりましたが、今回のニュースレター作成にあたりご協力いただきました先生方に心より感謝いたします。

広報幹事 長谷川大子